



相談時間等 月・水・金曜日

●立科小学校/午前9時～午前11時30分

電話0267-56-3131 (呼)

●立科中学校/午後2時～午後5時

電話0267-56-1076 (呼)

●立科町児童館/

午前11時50分～午後1時40分

電話0267-56-0303 (直通)

(担当 指導主事 中島一彦)

指導主事だより

なんだかうれしい

教育委員会

子どもたちの鼓動が聞こえる・・・「探究」ということ



大きく育ったヘチマの苗。たわわに実をつけたヘチマたち。その実を支える大きなヘチマの幹と棚。自分たちの教室から見上げた大きな棚。

「長さを測りたい」と声をあげ、調査活動に乗り出す四年生の子もたち。

六年生の教室に駆け上がり、六年担任のU先生に「U先生、教室を通過ってベランダに行っていていいですか?」「いいよ」のU先生の応答に「わあ～」と歓声があがります。上と下に分かれて、計測活動に夢中になっていく子どもたち。その学ぶ意欲の見事さ。

問いを持ち、実際の場に飛び出していく。そして長さに関わる「あれこれ」を仲間と交わしながら、測定値を確かめていく子どもたち。

「あ～だいたい4メートル32センチメートル」「えもっと長くない?」「こっちは8メートル・・・」「そんなに長いのか?」・・・夢中になって数を伝え合う子どもたち。「ドキッドキッ」っと、子どもたちの鼓動が聞こえるような感覚にもなりました。やり取りが終わると、何の指示もないのにノートに数値を書き込むA君、Mさん、K君・・・。ヘチマの幹の枝を図示しながら数値を書き入れるBさん、Tさん等。確かな問いに向かって、実際の場に駆け出し・・・そしてノートに数値を丹念に書き入れていく子どもたち。



「探究学習を目指しましょう」「対話的な学習を進めましょう」・・・

そんな「抽象的な言葉から」ではなく、「子どもたちの姿」から生み出されていく意欲的な学びの姿。子どもたちの身体に確かに刻まれていく学び。

立科小学校の実践から学べたひと時。今、此处、目の前の我が子たちの姿から教育を語り合いたいと思うのです。

